

■ 比較民俗研究会の記録

・第86回 (2008年5月26日)

山田昌久 (首都大学東京人文学部教授)  
「考古学からみた木の文化」

・第87回 (2008年6月3日)

朝克金 (中国社会科学院民族文学研究所副所長、研究員) 湯晓青 (中国社会科学院民族文学研究所副所長、研究員) 莎日娜 (中国社会科学院民族文学研究所副所長、助理研究員)  
「中国民族学・民俗学の現状—民族学を中心に—」

・第88回 (2008年6月30日)

曾士才 (法政大学国際文化学部教授)  
「西南中国のエスニック・ツーリズム」

・第89回 (2008年7月14日)

謝荔 (法政大学社会学部准教授)  
「祖先となる靈魂、転生する靈魂—四川地域のフィールドワークから—」

・第90回 (2008年10月20日)

小熊誠 (沖縄国際大学総合文化学部教授)  
「沖縄における門中再考—歴史と比較の視点から—」

・第91回 (2008年11月30日)

法橋量 (慶應義塾大学非常勤講師)  
「現代ドイツ民俗学とく語り—アルブレヒト・レーマンの試みを通して」

・第92回 (2008年12月26日)

小馬徹 (神奈川大学人間科学部教授)  
「相撲神大蔵鬼太夫永季の神話と歴史—相撲の節会と新興地方豪族「富豪の者」—」

・第93回 (2009年1月26日)

川上新二 (駒沢大学非常勤講師)  
「韓国珍島の巫俗について—民俗宗教研究の視点から—」

・第94回 (2009年2月28日)

額日徳木<sup>ユリドモト</sup> (中国北京中央民族大学教授、現東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所外国人共同研究員)  
「中国新疆ウイグル自治区伊犁地区オーロド部族の読経・転写・経文を招く習俗」